

株主のみなさまへ

# TOWA REPORT

第58期 事業のご報告

平成25年4月1日～平成26年3月31日



## CONTENTS

|                        |    |
|------------------------|----|
| ごあいさつ .....            | 1  |
| TOWA NEWS DIGEST ..... | 2  |
| トップインタビュー .....        | 3  |
| TOWA'S TOPICS .....    | 8  |
| 業績の概要 .....            | 9  |
| 連結財務諸表(要約) .....       | 11 |
| 個別財務諸表(要約) .....       | 13 |
| 会社の概況と株式の状況 .....      | 14 |



東和薬品株式会社



代表取締役社長  
吉田 逸郎

## 中期経営計画への取り組みを経て、次なる一步へ。 薬価制度改革が行われた今、 信頼性のさらなる向上に邁進してまいります。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第58期の事業のご報告(平成25年4月1日～平成26年3月31日)をお手元にお届けいたします。

当期の業績につきましては、今年度は診療報酬改定もなく、ジェネリック医薬品の使用促進環境に大きな変化はありませんでしたが、4月に厚生労働省が発表した「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」で“平成30年3月末までに60%以上”という新たな数量シェア目標が打ち出されるなど、引き続きフォローの風が吹いている状況にあります。このような状況下、当社の当期の業績も順調に推移し、当期が最終年度となる中期経営計画(平成23年度～平成25年度)についても業績目標を上回る結果となりました。

一方、ジェネリック医薬品の存在がますます

大きくなるにつれ、原薬などの確保や製品の安定供給の問題が指摘されるようになってきております。当社といたしましては、これらの問題の一つひとつ真摯に取り組むことで、信頼性のさらなる向上につなげていきたいと考えております。

当期の配当金につきましては、連結当期純利益が前年比で減少に転じたものの、数年来順調に推移していることを踏まえ、株主の皆様のご支援にお応えするため、当初計画通り37.50円(配当性向21.3%)といたしました。

内部留保金につきましては、中長期的視点からの経営体質の強化、企業価値の増大を図るために、研究開発力の充実、生産能力向上・効率化のための設備投資、営業体制の拡充・強化などに充てさせていただきたいと存じます。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

### ●●業界の動向

平成26年度薬価制度改革により、ジェネリック医薬品メーカーにとっては厳しい制度変更がありました。一方、“平成30年3月末までに60%以上”という数量シェア目標に向けて、DPC病院や保険薬局におけるジェネリック医薬品の使用促進策も打ち出されています。このような変化の時だからこそ、当社を含めジェネリック医薬品メーカーには、これまで以上に信頼性を向上するための取り組みが求められることとなります。

## 事業所の増改築・拡張、 原薬製造工場の建設

今後のさらなる安定供給体制の強化や付加価値製剤の開発のため、大阪工場の増改築や中央研究所の拡張を行いました。なお、工事を中断していました大地化成株式会社の原薬製造工場は、当初の建設用地の隣接地にて工事を再開し、平成27年3月の稼働開始を予定しています。



大阪工場増改築棟 (B棟:右側)

# TOWA NEWS DIGEST



この半期の主な取り組みと  
新製品をご紹介します。

## 医療関係者への情報提供活動

当社独自の取り組みを医療関係者へ広く認知いただくため、さまざまな学会で展示ブースによる情報提供活動を行っています。日本薬学会134年会では、RACTAB(ラクタブ)技術やOD錠(口腔内崩壊錠)への製品名印

刷などの取り組みを紹介しました。(3月28日~30日)



## 薬価基準追補収載(新製品)

脂質異常症(高脂血症)治療薬「アトルバスタチン製剤」と「ピタバスタチン製剤」では、分割後も製品名が判読しやすいよう割線に合わせて製品名印刷したOD錠を発売。他にも、患者さんの飲みやすさを考慮した製品な

ど、10成分25品目を発売。また、ジェイドルフ製薬株式会社では、医療用の痔治療薬市場で最も高いシェアを持つ医薬品の初ジェネリック医薬品となる「ヘモポリゾン軟膏」1品目を発売しました。(12月13日)



## 一般の方々への 広報・広告活動

ジェネリック医薬品の啓発広告として、毎日新聞全国版にて「くらしを変える、薬のはなし」(全5回)を掲載(1月19日~2月2日)。一般の方々へ別刷りした冊子も配布しています。また、各地のさまざまなイベントでブース出展を行い、ジェネリック医薬品の啓発活動を実施しました。



医療業界の専門家5名の方々とフリーアナウンサー魚住りえさんによる連載対談をまとめた冊子

## 映画「サクラサク」への特別協賛



「ワタシの、センタク。」プロジェクトの一環として、映画「サクラサク」に特別協賛しました。また、映画出演者などによるシンポジウム(3月15日)や各地で映画試写会を行いました。

## 東京大学COI拠点の参画機関として選定

東京大学を中心とする「若者と共存共栄する持続可能な健康長寿社会を目指す~Sustainable Life Care, Ageless Society COI拠点~」の参画機関として、文部科学省と科学技術振興機構による「革新的イノ

ベーション創出プログラム(COISTREAM)」に採択(10月30日)。当社は東京大学との共同研究で、原薬の合成プロセスの開発などを行い、高品質なジェネリック医薬品の開発を目指します。



## トップ・インタビュー Top Interview

# 変化する市場の中、 組織力・製品力が より一層の強みに。

中期経営計画（平成23～25年度）の  
最終年度となった第58期。

3年間の中期経営計画を終え、これまでの取り組みが  
今後の市場の中でどのような意味を持つてくるのか。  
吉田社長に語っていただきました。



中期経営計画（平成23～25年度）

主要課題  
「信頼性のさらなる向上」

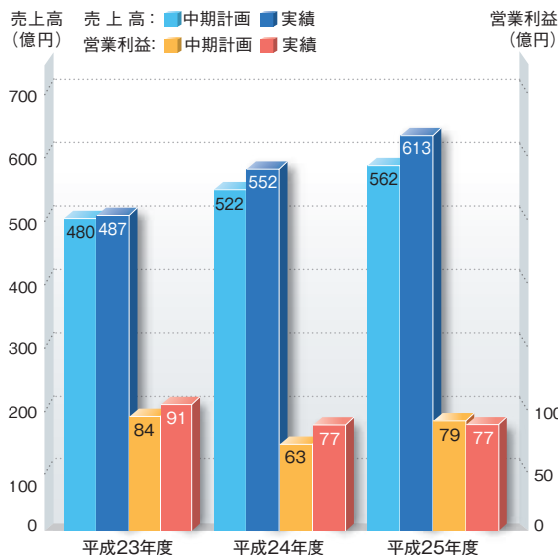
- ① 東和式直販体制の確立
- ② 製品総合力No.1の製品づくり
- ③ 安定供給体制の向上

Q 第58期の業績について  
総括をお聞かせください。

付加価値の高い製品を中心に  
売上は順調に推移。

第58期の売上高は61,351百万円となり、計画通り  
順調に推移しました。得意先としては、引き続き保険薬  
局向けの売上が伸長しており、売上に占める比率も増加

### 中期経営計画業績目標・数値(連結)



しています。また製品では、RACTAB(ラクタブ)技術を用いた付加価値の高い製品を中心に、売上が増加しました。平成26年(2014年)4月からの消費増税に伴う駆け込み需要も、ほぼ想定通りに発生しました。

## ジェネリック医薬品使用促進のため、求められることを着実に推進。

平成25年(2013年)4月に厚生労働省が「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」を発表。ジェネリック医薬品の数量シェア60%以上という、新たな目標が打ち出されました。国やメーカーが使用促進のために取り組むべきことが明示され、“安定供給”“品質に対する信頼性の確保”、“情報提供の方策”の3点が

メーカーに求められるようになりました。これは、この3年間に中期経営計画(平成23~25年度)の主要課題として当社が注力してきた点であり、国の方針と当社を目指す方向とが合致していることをここで再確認しました。今後も、これまで取り組んできた施策を着実に推進していきます。

**Q** 中期経営計画3年間の取り組みを振り返られていかがですか?

## ジェネリック医薬品を取り巻く環境の変化。

この3年間で、当社は生産・物流、販売体制の整備や「製品総合力No.1の製品づくり」などを進めてきましたが、一方でジェネリック医薬品を取り巻く環境も変化しています。メーカーに求められる“安定供給”はより広義になっており、生産・物流、販売体制だけでなく、原薬確保から取引先へ製品を届けるまで、すべてのプロセスにおいて、より一層強固な安定供給体制が求められています。

## より広義に求められるようになった“安定供給体制”に向け前進。

“安定供給”という観点から振り返ると、まず原薬確保については平成22年(2010年)に大地化成を子会社化し、原薬製造工場の建設に着手。稼働開始は来年3月を予定しています。原薬製造工場が稼働を始めると、原薬からの安定供給体制に大きく前進します。当社が望む基準で品質の良い原薬を開発できるほか、蓄積した合成プロセスなどの技術を委託製造に活用できることも

大地化成原薬製造工場完成イメージ図



メリット。そういった意味で、この中期経営計画で原薬からの安定供給体制の確立に着手できたことには、大きな意味があります。

生産面については、山形工場の稼働により3工場体制が完成し、将来の売上規模に対応する75億錠の生産能力を確保しました。この3工場体制には、生産規模の拡大のほか、災害時のリスク分散という目的もあります。災害などで1工場が操業を停止した場合でも、他の工場での製造を補完するため、現在はそのバックアップ体制の構築を進めています。

物流面については、東西物流2拠点体制が完成。これまでは、3工場に付随した各物流センターからそれぞれの製品を全国の販売拠点に出荷していましたが、各物流センターに全製品を保管し、1つの物流センターからまとめて製品を出荷することが可能になりました。また、災害時に一方の物流センターが操業を停止した場合でも、もう一方の物流センターから全国に出荷できます。物流面の安定供給体制についても、着実に前進しています。

## “情報提供”のための体制づくりも。

東和式直販体制の強化においては、営業所の新設を進め、MRも増員。現在では、ジェネリック医薬品メーカー最多の約600人体制となりました。営業販売網を整備したことで、安定供給のほかに情報提供体制も強化されました。製品を取引先に確実にお届けするだけでなく、信頼性の高い医薬品情報を迅速に提供し、さらに収集・伝達するための体制ができました。今後も、代理店と協力して東和式直販体制を強化していきます。

## 製品の評価と改善の継続による「製品総合力No.1の製品づくり」。

「製品総合力No.1の製品づくり」については、現在推進している施策の中でも特に長期に渡る取り組みのため、まずはこの3年間で足掛かりをつけたところです。当社の製品に関わるすべての方から評価していただける製品づくりを目指し、リストアップされた製品から現状の評価や改良に着手しました。この取り組みに終わりはないものと考え、今後も必要に応じて原薬や製造工程などを多角的に見直し、改良を行い、製品の品質や価値、コスト競争力をさらに高めていきたいと考えています。



Q

第59期の見通しについて  
お聞かせください。

## 診療報酬改定により、 市場はさらに拡大する見通し。

平成26年(2014年)4月に行われた診療報酬改定では、保険薬局の後発医薬品調剤体制加算が見直され、算定要件であるジェネリック医薬品の調剤割合が引き上げられました。また、DPC病院の機能評価係数Ⅱに後発医薬品指数が新設されるなど、今後もジェネリック医薬品の数量シェア60%以上という目標達成に向けて、ジェネリック医薬品の需要は大きくなる見通しです。

## 薬価制度改革による市場の変化に、 真価が問われる東和の「強み」。

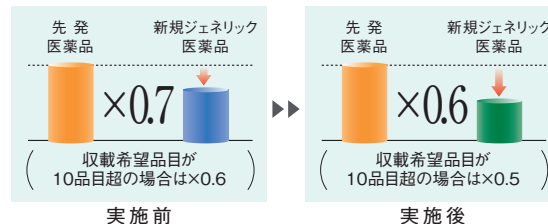
同時に行われた薬価制度改革は、ジェネリック医薬品メーカーにとって厳しい内容となりました。新規収載品の薬価については、段階的に引き下げが行われており、平成16年(2004年)4月に続き、今回も引き下げられました。また既収載品については、市場実勢価格に基づいて決められていた薬価が3価格帯に集約。これによりメーカー間の価格差がなくなり、価格以外の要素がさらに重要になったと考えられます。

このように環境が大きく変化する中でも、これまで注力してきた「付加価値製剤」「適正価格販売」「東和式直販体制」に対する信頼性が、引き続き当社の強みになることには変わりありません。そういった品質や付加価値など、価格以外の要素で当社の製品を評価し、選んで

### 薬価制度改革による薬価の変化

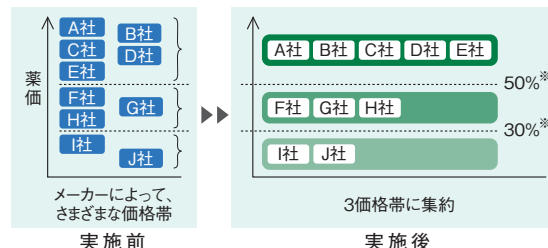
#### ①新規収載

初収載時薬価が下がります。



#### ②既収載

多数の価格帯から3価格帯に集約。



※先発医薬品の薬価に対する%(最高薬価が先発医薬品ではない場合は、最高薬価品)

いただくことで、新たな環境においても信頼されるジェネリック医薬品メーカーとして勝ち残っていきます。

Q

今後の取り組みについて  
考えをお聞かせください。

## 「製品総合力No.1の製品づくり」 のため、新たな取り組みも。

平成25年度(2013年度)よりCOI(センターオブイノベーション)への取り組みが始まりました。COIとは、



文部科学省と科学技術振興機構による“産学連携によるイノベーションの実現・創出”のための試み。当社は、東京大学が中心となって進めるプログラム「若者と共存共栄する持続可能な健康長寿社会を目指す～Sustainable Life Care, Ageless Society COI拠点～」に参画機関として選定されました。原薬の合成プロセスなどの研究開発を行い、高品質なジェネリック医薬品の開発へと繋げていきます。

付加価値を生み出す技術の向上にも注力します。例えば、RACTAB技術の新製品への適用。先発医薬品にOD錠がない場合でも、必要性があればOD錠を開発し、“飲みやすさ”の工夫をした製品を積極的に市場に出していきます。他にも割線に合わせた製品名印刷による“取り扱いやすさ”の工夫など、独自の工夫で製品の価値を高めていきます。

## さらなる整備や情報発信により、信頼に込め続ける企業へ。

生産面では3工場バックアップ体制の構築や、物流面においては物流センターの倉庫拡張など、さらに整備を進めます。バックアップ体制の構築については、1つの製品を2工場で製造可能な状態にするため、同じ設備を導入した上で製造プロセスを移管するという流れで進めています。時間のかかる取り組みではありますが、万全の体制を確立するため、着実に推進しています。

情報提供面では、メーカーに求められる基本的な情報に加え、当社独自の情報も積極的に提供していきます。ジェネリック医薬品は、先発医薬品と有効性・安全性の面で同等であることが認められており、問題なく代替可能な医薬品です。しかしながら、添加剤が異なるなどの理由で、副作用などの安全性に違いがあるのではない

### 製品の付加価値を高める工夫

● 飲みやすさの工夫  
RACTAB技術により  
水なしで飲めるOD錠。



● 取り扱いやすさの工夫  
分割後も判読しやすい  
よう割線に合わせた印刷。



かという不安を医療現場から伺うことがあります。これらの不安を解消するアプローチとして、短期間で先発医薬品と比較した肝障害リスクを評価する独自の評価方法「T-LEX法」を世界で初めて開発。発売時に安全性に関するデータを提供することが可能になりました。今後も、医療関係者に対する信頼性向上のため、さまざまな情報提供を行ってまいります。

一般の方へのPR活動としては、今年3月から新たに「ワタシの、センタク。」プロジェクトをスタート。本プロジェクトは、「人々の健康に貢献する、こころの笑顔を大切にする」という当社の理念に沿った活動の側面も兼ね備えています。

\* \* \*

以上のように、業界環境が大きく変容しつつあるところですが、この変化をチャンスと捉え、より一層信頼される企業・製品づくりに励んでいく考えです。そのために、メーカーとして求められる整備は着実に進め、医療関係者や一般の方々にジェネリック医薬品への正しい理解をいただけるよう活動してまいります。



# TOWA'S TOPICS

## ワタシの、 センタク。

## プロジェクトを 開始しました。

東和薬品は、さまざまな  
人生の“センタク”を応援します。

### 「ワタシの、センタク。」 プロジェクトとは

趣味や仕事、貯蓄、親の面倒、自分自身の健康など、今多くの人が迎える人生の“センタク”。本プロジェクトは東和薬品が、そんな人生の大切な“センタク”をしている方々をさまざまな角度から応援する活動です。

### さまざまな“センタク”の 参考となる情報の お届けやイベントを開催

3月27日にオープンしたウェブサイトでは、当社テレビCMに出演いただいている黒柳徹子さんなど著名人の“センタク”インタビューや料理のレシピなど、今後の“センタク”に役立つ情報を発信しています。ぜひご覧ください。



<http://towa-sentaku.jp>

また現在、全国のさまざまなイベントでミニマガジンなどを配布し、本プロジェクトを多くの方々に知っていただくための活動を行っています。



### 薬の“センタク”について 意識していただくために



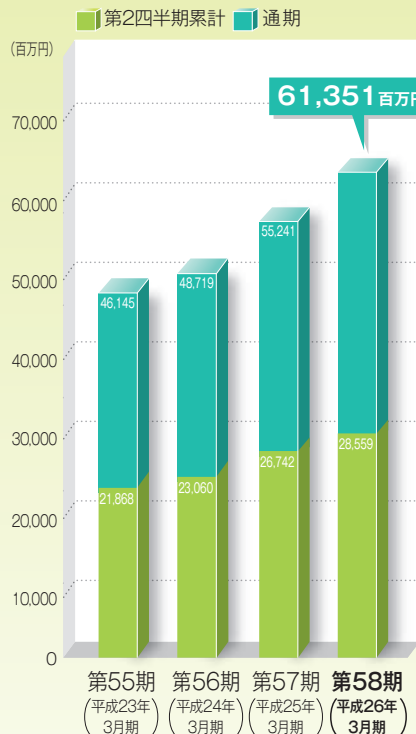
「ジェネリック医薬品」という言葉は一般の方々にも広く知られるようになってきました。しかし、自らジェネリック医薬品を“センタク”できることを知っている方は、まだ多くありません。

当社は、「ワタシの、センタク。」プロジェクトを通じて、多くの方々に薬の“センタク”について意識していただけるよう活動してまいります。

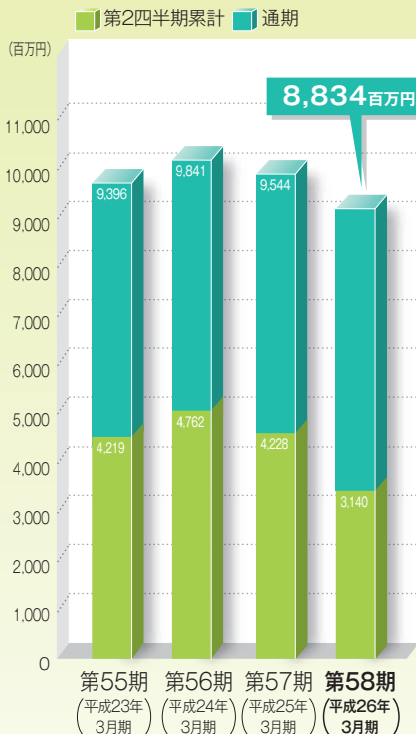
# 業績の概要

## 業績ハイライト(連結)

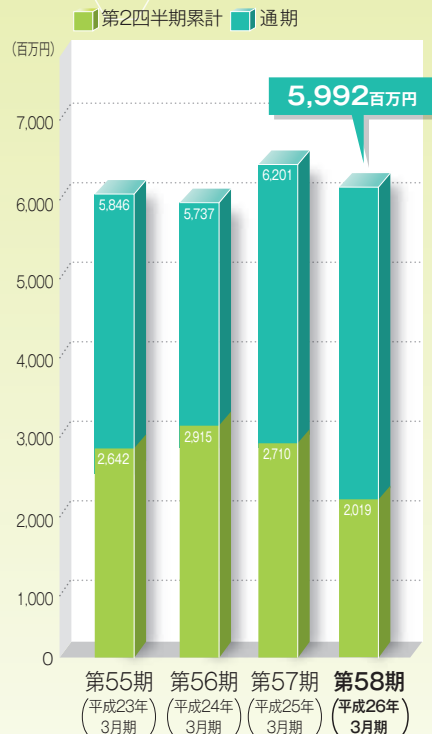
### 売上高



### 経常利益



### 当期(四半期)純利益



#### POINT

#### 1

#### 売上高

当連結会計年度の当社グループの売上高は、61,351百万円となり、前連結会計年度比11.1%の増加と順調に推移しました。平成26年4月の消費税率引き上げを控えて、ほぼ想定通りの駆け込み需要が発生しました。製品別売上では、高血圧・狭心症治療薬「アム

ロジピン製剤」や消化性潰瘍治療薬「ランソプラゾール製剤」、平成25年12月に発売した新製品につきましても脂質異常症(高脂血症)治療薬「ビタブスタチン製剤」のジェネリック医薬品初となるOD錠など、付加価値の高い製品を中心に売上が順調に推移しました。

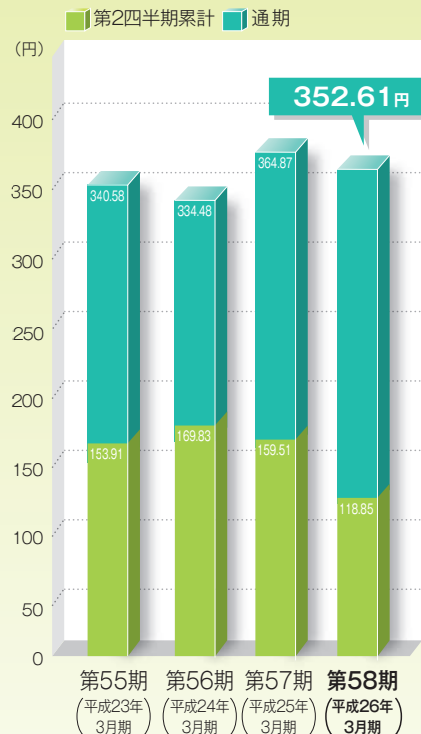
#### POINT

#### 2

#### 経常利益・当期純利益

当連結会計年度の当社グループの経常利益は、8,834百万円となり前連結会計年度比7.4%減収となりました。大阪工場、岡山工場の減価償却費の増加などにより、原価率が上昇しました。また、付加価値製剤などを含む開発品目の増加に伴う研究開発費の増加、消

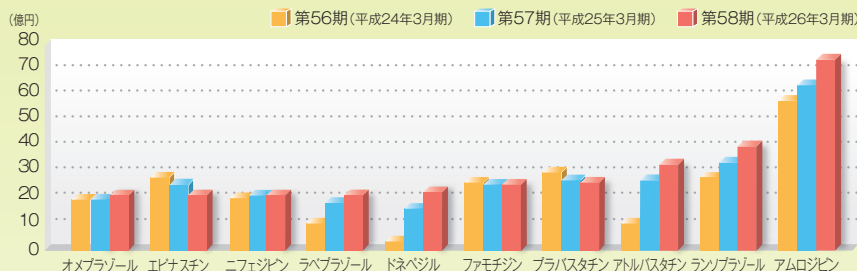
## 1株当たり当期(四半期)純利益



費増税に伴う駆け込み需要への対応のための物流コストの増加などにより、販売費及び一般管理費が増加しました。当期純利益につきましても、5,992百万円と前連結会計年度比3.4%の減収となりました。

## 主要製品売上高推移(個別)

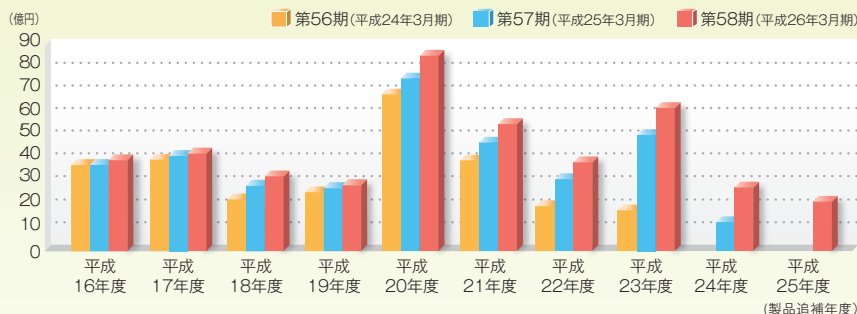
アムロジピン、ランソプラゾールなどが順調に成長



(注) 一般の名称を基本とした販売名へ切り替えていますので、一般名(成分名)で記載しています。  
ニフェジピン = トーフラート、エピナスチン = エルピナン、ファモチジン = ファモスタジン、ブラバスタチン = マイバスタン

## 追補年度別売上高推移(個別)

平成24年追補が順調に伸長、平成25年追補も好調



## 次期の見通し

平成26年4月の薬価制度改革により、ジェネリック医薬品の薬価の大幅な見直しが実施されました。業界環境は大きく変化していますが、当社の強みである「付加価値製剤」「適正価格販売」「東和式直販体制」が、より当社の優位性を高めるものと考えています。

付加価値の高い製品の伸長に加え、新規収載品の売上への寄与などにより、引き続き売上は拡大していく見通しです。

以上により、次連結会計年度は、売上高72,000百万円、営業利益7,800百万円、経常利益7,800百万円、当期純利益5,300百万円を見込んでいます。

# 連結財務諸表(要約)

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目                | 前期<br>(平成25年<br>3月31日現在) | 当期<br>(平成26年<br>3月31日現在) | 増減            |
|-------------------|--------------------------|--------------------------|---------------|
| <b>(資産の部)</b>     |                          |                          |               |
| <b>流動資産</b>       |                          |                          |               |
| 現金及び預金            | 3,485                    | 6,038                    | 2,552         |
| 受取手形及び売掛金         | 17,217                   | 19,505                   | 2,288         |
| 有価証券              | 3,000                    | 4,637                    | 1,637         |
| <b>① たな卸資産</b>    | <b>19,671</b>            | <b>22,674</b>            | <b>3,003</b>  |
| スワップ資産            | 1,292                    | 1,624                    | 331           |
| その他               | 2,471                    | 2,466                    | △ 5           |
| 貸倒引当金             | △ 89                     | △ 152                    | △ 63          |
| <b>流動資産合計</b>     | <b>47,049</b>            | <b>56,794</b>            | <b>9,744</b>  |
| <b>固定資産</b>       |                          |                          |               |
| 建物及び構築物           | 21,271                   | 21,663                   | 392           |
| 土地                | 6,694                    | 7,249                    | 555           |
| 建設仮勘定             | 724                      | 3,470                    | 2,746         |
| その他               | 9,307                    | 10,204                   | 897           |
| <b>② 有形固定資産合計</b> | <b>37,997</b>            | <b>42,587</b>            | <b>4,590</b>  |
| <b>無形固定資産合計</b>   | <b>768</b>               | <b>906</b>               | <b>137</b>    |
| 投資有価証券            | 2,108                    | 1,937                    | △ 171         |
| その他               | 1,870                    | 1,099                    | △ 771         |
| 貸倒引当金             | △ 88                     | △ 6                      | 82            |
| <b>投資その他の資産合計</b> | <b>3,890</b>             | <b>3,029</b>             | <b>△ 860</b>  |
| <b>固定資産合計</b>     | <b>42,656</b>            | <b>46,523</b>            | <b>3,867</b>  |
| <b>資産合計</b>       | <b>89,705</b>            | <b>103,318</b>           | <b>13,612</b> |

POINT  
1

### たな卸資産

前連結会計年度と比較し、3,003百万円増加。売上の増加に対応し、製品在庫の積み増しを行い、安定的な供給体制の充実に努めています。

POINT  
2

### 有形固定資産合計

前連結会計年度と比較し、4,590百万円増加。大地化成の原薬製造工場建設に係る設備投資及び生産能力増強のための大阪工場増改築工事を実施したことが主な要因です。

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

(単位:百万円)

| 科目                   | 前期<br>(平成25年<br>3月31日現在) | 当期<br>(平成26年<br>3月31日現在) | 増減            |
|----------------------|--------------------------|--------------------------|---------------|
| <b>(負債の部)</b>        |                          |                          |               |
| <b>流動負債</b>          |                          |                          |               |
| 支払手形及び買掛金            | 7,482                    | 9,775                    | 2,292         |
| 未払金                  | 3,327                    | 3,602                    | 275           |
| 未払法人税等               | 1,667                    | 1,915                    | 247           |
| その他                  | 7,041                    | 9,463                    | 2,421         |
| <b>流動負債合計</b>        | <b>19,519</b>            | <b>24,757</b>            | <b>5,237</b>  |
| <b>固定負債</b>          |                          |                          |               |
| <b>③ 長期借入金</b>       | <b>12,908</b>            | <b>16,620</b>            | <b>3,712</b>  |
| その他                  | 1,667                    | 1,792                    | 125           |
| <b>固定負債合計</b>        | <b>14,575</b>            | <b>18,413</b>            | <b>3,837</b>  |
| <b>負債合計</b>          | <b>34,095</b>            | <b>43,170</b>            | <b>9,075</b>  |
| <b>(純資産の部)</b>       |                          |                          |               |
| <b>株主資本</b>          |                          |                          |               |
| 資本金                  | 4,717                    | 4,717                    | —             |
| 資本剰余金                | 7,870                    | 7,870                    | —             |
| 利益剰余金                | 43,536                   | 48,049                   | 4,512         |
| 自己株式                 | △ 638                    | △ 639                    | △ 0           |
| <b>株主資本合計</b>        | <b>55,485</b>            | <b>59,998</b>            | <b>4,512</b>  |
| <b>その他の包括利益累計額合計</b> | <b>124</b>               | <b>149</b>               | <b>24</b>     |
| <b>純資産合計</b>         | <b>55,610</b>            | <b>60,147</b>            | <b>4,536</b>  |
| <b>負債純資産合計</b>       | <b>89,705</b>            | <b>103,318</b>           | <b>13,612</b> |

POINT  
3

### 長期借入金

前期末と比較し3,712百万円増加。当連結会計年度に、大地化成の原薬製造工場建設資金などとして、6,750百万円の借入を実施しました。

POINT  
4

### 売上高/売上原価/売上総利益

売上高は、前連結会計年度と比較し、11.1%の増収。売上総利益も前期比9.0%の増益。生産能力増強のための投資による減価償却費の増加などにより、原価率が前期比0.9ポイント上昇しました。



## 連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科目                  | 前期<br>(平成24年4月1日から<br>平成25年3月31日まで) | 当期<br>(平成25年4月1日から<br>平成26年3月31日まで) | 増減    |
|---------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------|
| <b>4 売上高</b>        | 55,241                              | 61,351                              | 6,109 |
| 売上原価                | 27,500                              | 31,121                              | 3,621 |
| <b>売上総利益</b>        | 27,741                              | 30,230                              | 2,488 |
| <b>5 販売費及び一般管理費</b> | 20,018                              | 22,523                              | 2,504 |
| <b>営業利益</b>         | 7,723                               | 7,706                               | △ 16  |
| 営業外収益               | 2,082                               | 1,308                               | △ 773 |
| 営業外費用               | 261                                 | 180                                 | △ 80  |
| <b>経常利益</b>         | 9,544                               | 8,834                               | △ 709 |
| 特別利益                | 11                                  | 0                                   | △ 11  |
| 特別損失                | 245                                 | 132                                 | △ 113 |
| <b>税金等調整前当期純利益</b>  | 9,310                               | 8,702                               | △ 607 |
| 法人税、住民税及び事業税        | 3,271                               | 2,392                               | △ 878 |
| 法人税等調整額             | △ 161                               | 317                                 | 479   |
| <b>当期純利益</b>        | 6,201                               | 5,992                               | △ 208 |

POINT  
5

### 販売費及び一般管理費

付加価値製剤などを含む開発品目の増加に伴う研究開発費の増加、消費増税前の駆け込み需要への対応による物流コストの増加などにより、販売費及び一般管理費が前期比12.5%増加しました。

## 6 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科目                   | 前期<br>(平成24年4月1日から<br>平成25年3月31日まで) | 当期<br>(平成25年4月1日から<br>平成26年3月31日まで) | 増減    |
|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー     | 8,645                               | 8,144                               | △ 500 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー     | △ 11,298                            | △ 11,300                            | △ 2   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー     | 2,793                               | 3,529                               | 735   |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額     | 46                                  | 251                                 | 204   |
| 現金及び現金同等物の増減額        | 187                                 | 624                                 | 437   |
| 現金及び現金同等物の期首残高       | 3,798                               | 3,985                               | 187   |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | —                                   | 65                                  | 65    |
| 現金及び現金同等物の期末残高       | 3,985                               | 4,675                               | 689   |

POINT  
6

### 連結キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物は、4,675百万円となりました。

**[営業活動によるキャッシュ・フロー]**

税金等調整前当期純利益8,702百万円などの収入があり、8,144百万円の収入となりました。

**[投資活動によるキャッシュ・フロー]**

有形固定資産の取得による支出7,954百万円などがあり、11,300百万円の支出となりました。

**[財務活動によるキャッシュ・フロー]**

長期借入れによる収入が6,750百万円などがあり、3,529百万円の収入となりました。

## 連結株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位:百万円)

|                        | 株主資本  |       |         |       |         | その他の包括利益累計額      |                  |                   | 純資産合計   |
|------------------------|-------|-------|---------|-------|---------|------------------|------------------|-------------------|---------|
|                        | 資本金   | 資本剰余金 | 利益剰余金   | 自己株式  | 株主資本合計  | その他有価証券<br>評価差額金 | 退職給付に係る<br>調整累計額 | その他の包括<br>利益累計額合計 |         |
| <b>平成25年4月1日 期首残高</b>  | 4,717 | 7,870 | 43,536  | △ 638 | 55,485  | 124              | —                | 124               | 55,610  |
| <b>連結会計年度中の変動額</b>     |       |       |         |       |         |                  |                  |                   |         |
| 剰余金の配当                 |       |       | △ 1,274 |       | △ 1,274 |                  |                  |                   | △ 1,274 |
| 当期純利益                  |       |       | 5,992   |       | 5,992   |                  |                  |                   | 5,992   |
| 連結範囲の変動                |       |       | △ 205   |       | △ 205   |                  |                  |                   | △ 205   |
| 自己株式の取得                |       |       |         | △ 0   | △ 0     |                  |                  |                   | △ 0     |
| 株主資本以外の項目              |       |       |         |       |         | 7                | 17               | 24                | 24      |
| <b>連結会計年度中の変動額合計</b>   | —     | —     | 4,512   | △ 0   | 4,512   | 7                | 17               | 24                | 4,536   |
| <b>平成26年3月31日 期末残高</b> | 4,717 | 7,870 | 48,049  | △ 639 | 59,998  | 131              | 17               | 149               | 60,147  |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 個別財務諸表(要約)

## 貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目                | 前期<br>(平成25年<br>3月31日現在) | 当期<br>(平成26年<br>3月31日現在) | 増減            |
|-------------------|--------------------------|--------------------------|---------------|
| <b>(資産の部)</b>     |                          |                          |               |
| <b>流動資産</b>       |                          |                          |               |
| 現金及び預金            | 3,321                    | 5,681                    | 2,360         |
| 受取手形              | 9,148                    | 8,637                    | △ 511         |
| 売掛金               | 7,193                    | 10,093                   | 2,899         |
| 有価証券              | 3,000                    | 4,637                    | 1,637         |
| たな卸資産             | 19,379                   | 21,976                   | 2,597         |
| スワップ資産            | 1,292                    | 1,624                    | 331           |
| その他               | 2,416                    | 2,288                    | △ 128         |
| 貸倒引当金             | △ 89                     | △ 154                    | △ 64          |
| <b>流動資産合計</b>     | <b>45,662</b>            | <b>54,785</b>            | <b>9,122</b>  |
| <b>固定資産</b>       |                          |                          |               |
| 建物                | 19,551                   | 19,691                   | 140           |
| 土地                | 6,550                    | 6,550                    | -             |
| 建設仮勘定             | 661                      | 1,009                    | 348           |
| その他               | 9,346                    | 9,919                    | 572           |
| <b>有形固定資産合計</b>   | <b>36,110</b>            | <b>37,171</b>            | <b>1,061</b>  |
| <b>無形固定資産合計</b>   | <b>755</b>               | <b>1,008</b>             | <b>253</b>    |
| 投資有価証券            | 2,108                    | 1,937                    | △ 171         |
| その他               | 2,778                    | 4,355                    | 1,576         |
| 貸倒引当金             | △ 88                     | △ 6                      | 82            |
| <b>投資その他の資産合計</b> | <b>4,798</b>             | <b>6,285</b>             | <b>1,487</b>  |
| <b>固定資産合計</b>     | <b>41,664</b>            | <b>44,466</b>            | <b>2,802</b>  |
| <b>資産合計</b>       | <b>87,327</b>            | <b>99,251</b>            | <b>11,924</b> |

(単位:百万円)

| 科目                | 前期<br>(平成25年<br>3月31日現在) | 当期<br>(平成26年<br>3月31日現在) | 増減            |
|-------------------|--------------------------|--------------------------|---------------|
| <b>(負債の部)</b>     |                          |                          |               |
| <b>流動負債</b>       |                          |                          |               |
| 支払手形              | 1,406                    | 1,843                    | 437           |
| 買掛金               | 5,882                    | 7,552                    | 1,669         |
| 未払金               | 3,184                    | 3,442                    | 257           |
| 未払法人税等            | 1,611                    | 1,869                    | 258           |
| その他               | 6,232                    | 7,462                    | 1,230         |
| <b>流動負債合計</b>     | <b>18,317</b>            | <b>22,171</b>            | <b>3,853</b>  |
| <b>固定負債</b>       |                          |                          |               |
| 長期借入金             | 12,508                   | 15,933                   | 3,424         |
| その他               | 1,608                    | 1,714                    | 106           |
| <b>固定負債合計</b>     | <b>14,117</b>            | <b>17,648</b>            | <b>3,530</b>  |
| <b>負債合計</b>       | <b>32,434</b>            | <b>39,819</b>            | <b>7,384</b>  |
| <b>(純資産の部)</b>    |                          |                          |               |
| <b>株主資本</b>       |                          |                          |               |
| 資本金               | 4,717                    | 4,717                    | -             |
| 資本剰余金             | 7,870                    | 7,870                    | -             |
| 利益剰余金             | 42,818                   | 47,351                   | 4,532         |
| 自己株式              | △ 638                    | △ 639                    | △ 0           |
| <b>株主資本合計</b>     | <b>54,767</b>            | <b>59,300</b>            | <b>4,532</b>  |
| <b>評価・換算差額等合計</b> | <b>124</b>               | <b>131</b>               | <b>7</b>      |
| <b>純資産合計</b>      | <b>54,892</b>            | <b>59,432</b>            | <b>4,539</b>  |
| <b>負債純資産合計</b>    | <b>87,327</b>            | <b>99,251</b>            | <b>11,924</b> |

## 損益計算書

(単位:百万円)

| 科目              | 前期<br>(平成25年4月1日<br>平成25年3月31日) | 当期<br>(平成25年4月1日<br>平成26年3月31日) | 増減           |
|-----------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------|
| <b>売上高</b>      | <b>53,624</b>                   | <b>59,696</b>                   | <b>6,071</b> |
| 売上原価            | 26,573                          | 29,621                          | 3,048        |
| <b>売上総利益</b>    | <b>27,051</b>                   | <b>30,074</b>                   | <b>3,023</b> |
| 販売費及び一般管理費      | 19,509                          | 22,287                          | 2,777        |
| <b>営業利益</b>     | <b>7,541</b>                    | <b>7,786</b>                    | <b>245</b>   |
| 営業外収益           | 2,077                           | 1,318                           | △ 758        |
| 営業外費用           | 259                             | 169                             | △ 89         |
| <b>経常利益</b>     | <b>9,358</b>                    | <b>8,935</b>                    | <b>△ 423</b> |
| 特別利益            | 11                              | 0                               | △ 11         |
| 特別損失            | 234                             | 414                             | 179          |
| <b>税引前当期純利益</b> | <b>9,136</b>                    | <b>8,521</b>                    | <b>△ 614</b> |
| 法人税・住民税及び事業税    | 3,209                           | 2,318                           | △ 891        |
| 法人税等調整額         | △ 164                           | 395                             | 560          |
| <b>当期純利益</b>    | <b>6,091</b>                    | <b>5,807</b>                    | <b>△ 284</b> |

## 株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位:百万円)

|                        | 資本金          | 資本剰余金        | 利益準備金      | その他利益剰余金     |            |               |              | 利益剰余金<br>合計   | 自己株式         | 株主資本<br>合計    | 評価・換算差額等<br>合計 | 純資産合計         |
|------------------------|--------------|--------------|------------|--------------|------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|----------------|---------------|
|                        |              |              |            | 特別償却準備金      | 土地圧縮積立金    | 別途積立金         | 繰越利益剰余金      |               |              |               |                |               |
| <b>平成25年4月1日 期首残高</b>  | <b>4,717</b> | <b>7,870</b> | <b>399</b> | <b>837</b>   | <b>117</b> | <b>35,985</b> | <b>5,478</b> | <b>42,818</b> | <b>△ 638</b> | <b>54,767</b> | <b>124</b>     | <b>54,892</b> |
| <b>事業年度中の変動額</b>       |              |              |            |              |            |               |              |               |              |               |                |               |
| 特別償却準備金の積立             |              |              |            | 312          |            |               | △ 312        | -             |              | -             |                | -             |
| 特別償却準備金の取崩し            |              |              |            | △ 143        |            |               | 143          | -             |              | -             |                | -             |
| 別途積立金の積立               |              |              |            |              |            | 4,200         | △ 4,200      | -             |              | -             |                | -             |
| 剰余金の配当                 |              |              |            |              |            |               | △ 1,274      | △ 1,274       |              | △ 1,274       |                | △ 1,274       |
| 当期純利益                  |              |              |            |              |            |               | 5,807        | 5,807         |              | 5,807         |                | 5,807         |
| 自己株式の取得                |              |              |            |              |            |               |              |               | △ 0          | △ 0           |                | △ 0           |
| 株主資本以外の項目              |              |              |            |              |            |               |              |               |              |               | 7              | 7             |
| <b>事業年度中の変動額合計</b>     | <b>-</b>     | <b>-</b>     | <b>-</b>   | <b>169</b>   | <b>-</b>   | <b>4,200</b>  | <b>163</b>   | <b>4,532</b>  | <b>△ 0</b>   | <b>4,532</b>  | <b>7</b>       | <b>4,539</b>  |
| <b>平成26年3月31日 期末残高</b> | <b>4,717</b> | <b>7,870</b> | <b>399</b> | <b>1,006</b> | <b>117</b> | <b>40,185</b> | <b>5,642</b> | <b>47,351</b> | <b>△ 639</b> | <b>59,300</b> | <b>131</b>     | <b>59,432</b> |

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 会社の概況と株式の状況 (平成26年3月31日現在)

## 会社概要

社名 東和薬品株式会社  
 本社 〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号  
 TEL:06-6900-9100(代表)  
 代表者 代表取締役社長 吉田 逸郎  
 創業 昭和26年6月  
 設立 昭和32年4月  
 上場取引所 東京証券取引所市場第一部(証券コード:4553)  
 資本金 47億1,770万円  
 事業内容 医療用医薬品の製造・販売  
 自社製品 622品目(平成25年12月現在)  
 従業員数 1,830名(平成26年4月1日現在)  
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 門真支店  
 みずほ銀行 守口支店  
 三菱UFJ信託銀行 大阪支店  
 日本政策投資銀行 関西支店  
 研究所 中央研究所 製剤研究所 京都分析科学センター  
 工場 大阪工場 岡山工場 山形工場  
 子会社 ジェイドルフ製薬株式会社(医療用医薬品の製造販売)  
 大地化成株式会社(医薬品原薬・中間体の研究開発及び製造)

## 株式の状況

発行可能株式総数 ..... 49,000,000株  
 発行済株式総数 ..... 17,172,000株  
 1単元の株式数 ..... 100株  
 株主数 ..... 4,274名

## 大株主一覧(上位10名)

| 株主名                              | 持株数     | 持株比率   |
|----------------------------------|---------|--------|
| (株)吉田事務所                         | 4,700千株 | 27.65% |
| (有)吉田興産                          | 2,000   | 11.76  |
| ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント  | 601     | 3.53   |
| 吉田 逸郎                            | 485     | 2.85   |
| 東和薬品共栄会                          | 422     | 2.48   |
| ステートストリートバンクアンドトラスト カンパニー 505044 | 420     | 2.47   |
| ピクテアンドシーヨーロッパエスエー                | 360     | 2.12   |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)         | 329     | 1.93   |
| (有)吉田エステート                       | 300     | 1.76   |
| 東和薬品社員持株会                        | 268     | 1.57   |

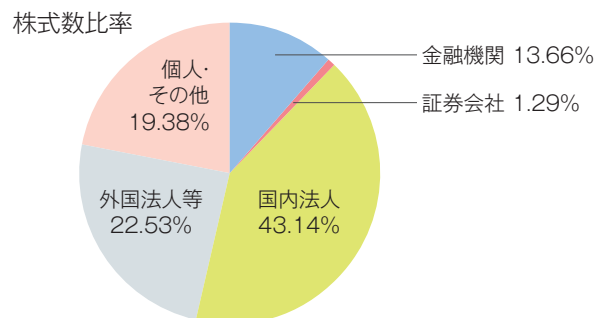
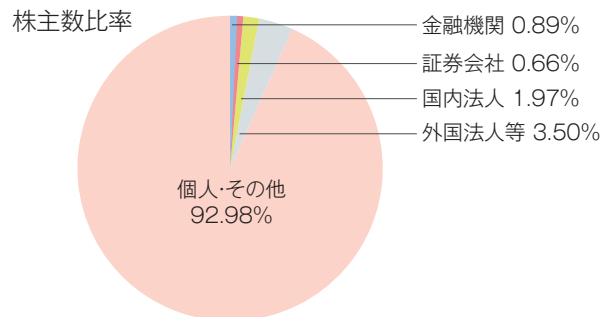
(注) 持株比率は、自己株式(176,760株)を控除して計算しています。

## 取締役及び監査役(平成26年6月26日現在)

|               |             |
|---------------|-------------|
| 代表取締役社長 吉田 逸郎 | 取締役 前山 茂    |
| 専務取締役 大澤 孝    | 取締役 今野 和彦   |
| 常務取締役 播磨 武    | 取締役 沖本 和人   |
| 常務取締役 野口 豪    | 取締役 椋田 隆司   |
| 常務取締役 猪熊 俊    | 常勤監査役 栗原 一夫 |
| 取締役 藤本 正義     | 監査役 皆木 武久   |
| 取締役 薮下 啓二     | 監査役 森野 實彦   |
| 取締役 西川 義明     | 監査役 辻 弘     |
| 取締役 森野 禎之     |             |

※は会社法 第2条 第16号に定める  
社外監査役です。

## 株主分布状況



## 株主メモ

|            |  |
|------------|--|
| 事業年度       | 毎年4月1日から翌年3月31日まで  |
| 定時株主総会     | 6月に開催  |
| 剰余金の配当の基準日 | 3月31日、9月30日  |
| 1単元の株式数    | 100株   |
| 公告掲載方法     | 電子公告によって行います。<br>http://www.towayakuhin.co.jp/ir/stock/koukoku.html<br>但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 |

|                        |  |
|------------------------|--|
| 株主名簿管理人ならびに特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社   |
| 同事務取扱場所<br>(お問い合わせ先)   | 〒541-8502<br>大阪市中央区伏見町3丁目6番3号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社<br>大阪証券代行部<br>TEL:0120-094-777(通話料無料) |

### ◎住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

口座を開設されている証券会社等にお申出ください。なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

### ◎未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し付けください。

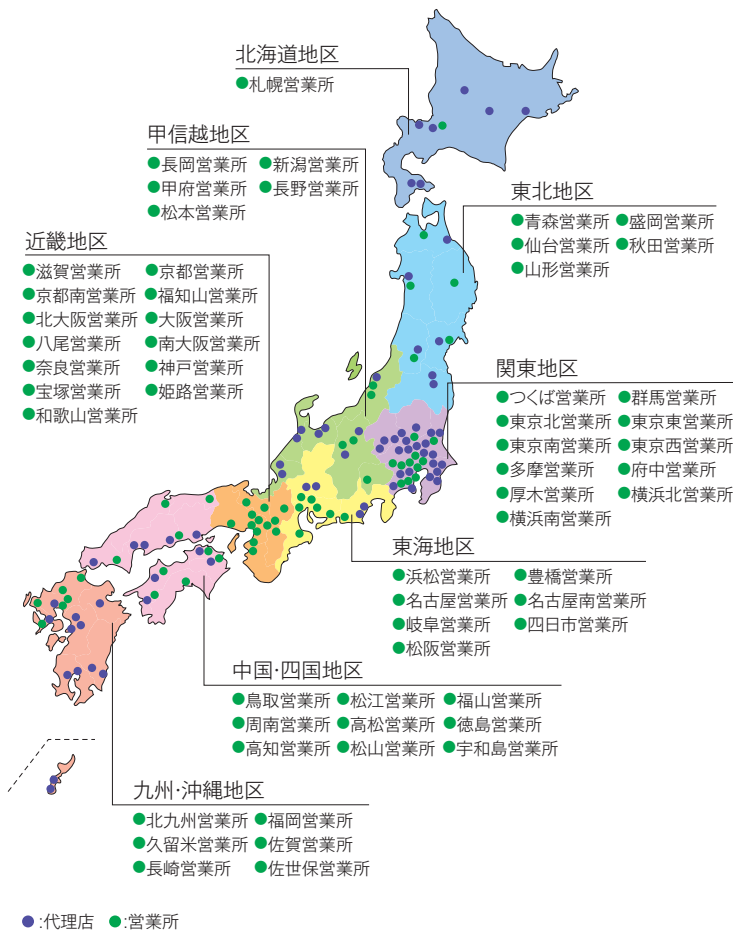
### New Topic

平成26年4月から、  
次のテレビ番組を提供しています。

|           |                                   |
|-----------|-----------------------------------|
| ●報道ステーション | テレビ朝日系24局ネット<br>毎週月曜日 21:54-23:10 |
| ●火曜サプライズ  | 日本テレビ系28局ネット<br>毎週火曜日 19:00-19:56 |

## 営業・販売拠点のご紹介

当社は営業所の新設や移転による販売流通網の整備を進め、代理店70カ所・営業所57カ所を拠点に、営業・販売活動を行っています(平成26年3月31日時点)。今後も引き続き「東和式直販体制」のさらなる強化を図ってまいります。



### ◎見通しに関する注意事項

当報告書の記載内容のうち、歴史的事実でないものは将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見通しとは異なる場合がございます。



〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号  
TEL:06-6900-9100(代表)  
http://www.towayakuhin.co.jp  
皆様からのアクセスをお待ちしています。